

(別紙4(2))

事業所名 グループホームいつくしみの郷

目標達成計画

作成日: 令和元年11月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(5)	身体拘束を行なわない為の仕組みが確立していない。	身体拘束を行なわない為の意識を高めることができる。	・身体的拘束適正化検討委員会を1/2月回実施 ・拘束・虐待防止に向けての研修へ参加し、伝達講習をする。	24ヶ月
2	(13)	防災・急変時等のマニュアルの復習が出来ていない。また定期的に見直しが必要である。	マニュアルを職員全員が活用出来るようにする。	・会議の際にマニュアルの見直しをする。 ・各階のミーティング時にマニュアルの見直しをする。	24ヶ月
3	(20)	居室扉の表札に写真やカードを挿入できる仕組みがあるが、現在十分に活用できていない。	自室が分かるような居室の飾り付けが出来る。	・誕生日ごとに表札を変える。 ・居室が分からなくなる人には名前を分かる所に書いたり、色を付けたりして個人の部屋が分かるように工夫する。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。